



鉄砲館だより

種子島開発総合センター

☎23-3215

ぶんぶん文化財

ぶん かせい

Cultural property

## おばま 小浜遺跡

(中世の埋葬遺跡)

【第6回】

令和元年十二月、伊闕校区柳原の海岸にある小浜遺跡の発掘調査が、  
大学教授らで構成された調査団により実施されました。今回の調査  
の目的は、南西諸島で出土した人骨のDNAを比較し、類似性の有無を調  
べることで、島々間の人々の交易・交流を研究することでした。

今回調査が行われた小浜遺跡は、遺体が埋葬されている埋葬遺跡で、複  
数のお墓があることが判明しています。遺体の上に石が積み重ねられてい  
る覆石墓（ふくせきぼ）と呼ばれるお墓が特徴的です。石の下から発見さ  
れた人骨は、頭は北側、顔は西向きであり、屈葬と呼ばれる足を抱えた状  
態で見つかりました。人骨はその出土状況から室町時代のものであると推

測されています。お墓を調べることで、人の  
交流の他にも葬送儀礼や社会の構造など、多  
くのことを明らかにできますので、今後の研  
究の進展が待たれます。

ところで、種子島には埋葬遺跡が多く存在  
します。有名な遺跡として、中種子町の烏ノ  
峯遺跡（弥生時代の墓群）や、南種子町の広  
田遺跡（古墳併行期の墓群）があり、種子島  
を代表する遺跡として知られています。鹿児島  
県下では埋葬遺跡は珍しく、種子島は多く  
の研究者の注目を浴びています。文化財係は  
郷土の歴史を解明するために、市内遺跡の調  
査を積極的に行っていきます。



(文責 文化財係 吉元伸一)